



パイプライン専門チーム構想

痴山 紘史

動機



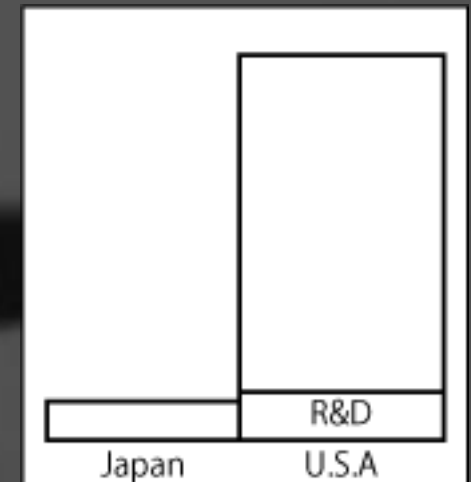
- 国内の映像業界の停滞感
- ハリウッドを始めとした海外の企業との格差
- ロンドンの台頭、シンガポールやカナダへの仕事の流れ

全てにおいて日本は取り残され、孤立している。
この現状を打破するための場所を作りたい

海外と国内の比較

圧倒的に規模が違う

- 海外の例
 - 一社で数十人程度のR&D、それ以上のエンジニアを抱える規模の会社が多数(ILM,PIXAR,SPI,DD...etc)
 - 年間数十タイトルの大規模VFXプロジェクト
- 国内
 - R&Dはない
 - エンジニアですら一社で一人〜数人
 - 年間多くて数本



規模が小さいことの弊害

国内では、各社がエンジニアを抱えて環境整備をするのは事実上不可能

頑張っ環境を整えても担当者が辞めてしまうと引き継げなくなってしまう

→数年の蓄積がムダになって元の木阿弥

辞めたエンジニアも、他の会社も同じような境遇なのでまた一から環境構築をすることになる

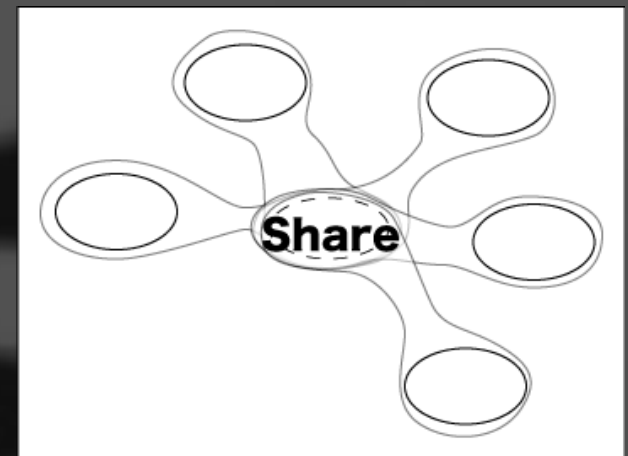
→とても不毛

テクニカル専門チームの提案

- 数社で協力してテクニカルチームを維持する

十社で各一人のエンジニアを雇うことはできなくても十社で十人のチームを共有することはできる

- テクニカルチームは各社の社内チームと同様にパイプラインの構築やツール開発に携る
- 分室、サテライトオフィスのイメージ
- 逆に、仕事として映像を作り出すことはしない



集まることの相乗効果

- 効率化

一人商店が十カ所よりも十人のチームが一つの方が効率・成果共に期待できる

- リスクや負荷の分散

一社で技術者を抱えると仕事や財政状況によって負担になったり人手不足になってしまう

複数の会社で共有することで負荷のバランスを取ることができる

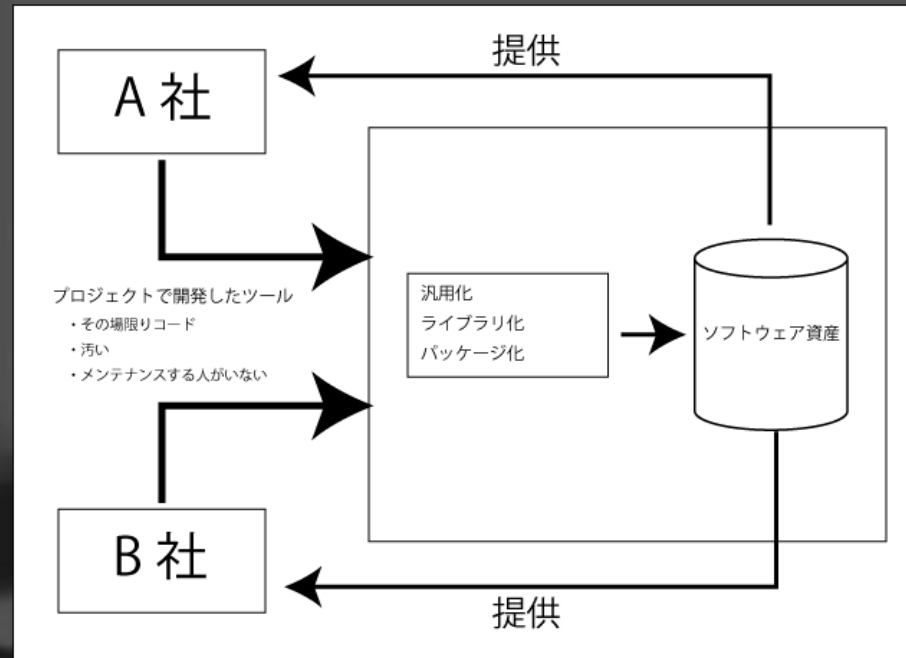
ミッション

- 技術をプール、ブラッシュアップするための場所
- 保守・開発をする場所の担保
- 海外からの資金の還流
- 海外経験者のための土壌作り
- 制作パイプラインの提供

技術をプールするための場所

映画など大規模なプロジェクトで人や技術を集めて環境を構築してもプロジェクトが終わるとバラバラになってしまい、せっかく作り上げたものが次に生かされない。

この技術を引き継ぎ、次に繋がるようにメンテナンスを行って行く



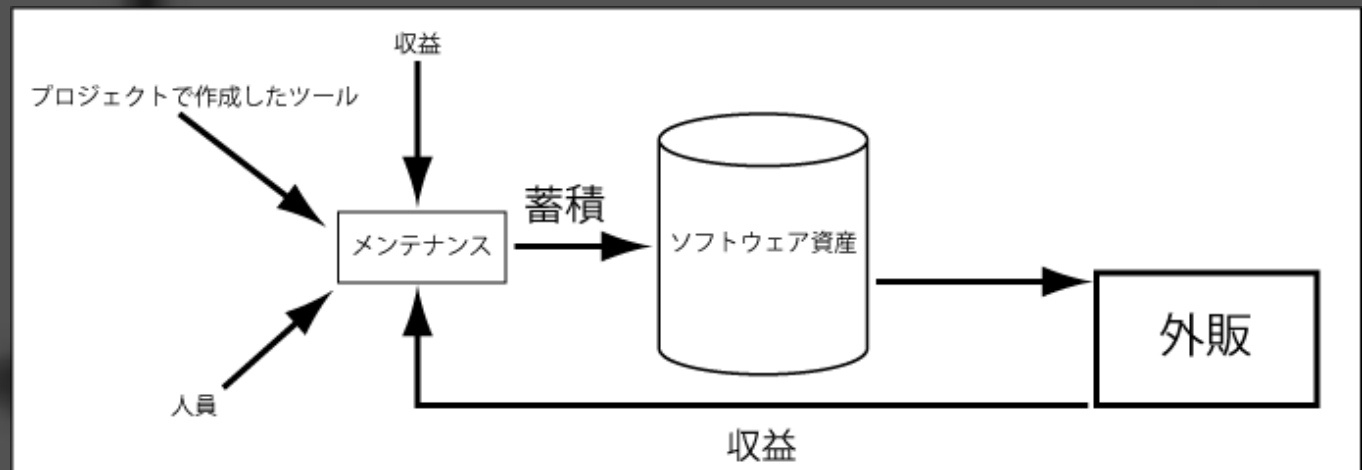
保守・開発をする場所の担保

使いたい!!でもいつ開発されなくなるか不安!!というツールを、安心して使うことができるようにメンテナンスを引き受ける場所

- Blur Beta : Blur Studio が開発したツール群
- py3dsMax : 3ds max 上で python を使うためのプラグイン
- 便利だけれども使う事のできなくなったスクリプト
- 特定のバージョンでは動かないツール
- 日本語版では動かないツール

海外からの資金の還流

- 開発したものをパッケージ化して販売する
- 海外へも販売すれば、海外から資金を得ることができる
- 得た資金を保守・開発に充てることで各社の負担が更に軽減される
- 餅は餅屋ということで、国内の代理店に協力頂く



海外経験者のための土壌作り

専門化が進み、制作のためのインフラが整ったところで技術を身につけても日本で同じパフォーマンスは発揮できない

〇〇のスペシャリスト⇔〇〇しかできない人

このような人たちが戻ってきたときに活躍でき、技術を日本に広めることができるようにするための地盤を作る

制作パイプラインの提供

- 開発力のない会社

標準のパイプラインを使用して効率化を計ることができる

- 開発力のある会社

標準のパイプラインを構成する要素を組み合わせることで自社の目的に特化した形態に進化させることができる

- フリーランスの方

共通パイプラインを使っている会社であれば同じようなスタイルで仕事をする事ができる

標準パイプラインを使用していれば、複数社に渡って仕事をするときもシームレスにやりとりができる

収益モデル

- コンサルティング契約
- セミナー
- プロジェクト毎の開発契約
- 開発/整備したツールの外販

2012でcebasは破壊プラグインを開発。その後"Volume Breaker"として発売

- 参加して頂いたエンジニアの person 費を元企業で負担
- その他?会社がR&Dを持つ時はどのような扱いにしているのか?それに準ずる形を模索する?

組織の形態

- 会社が一番わかりやすい

結局、その会社が肥えるだけでは?という懸念が拭えるか?

- NPO的組織?

営利活動ができない/継続して場所を提供していくのは難しそう

- ホスト会社の一部隊として存在、ただしオープンソース的にして全て公開

ホスト会社のメリットは?結局政治的な話で難しそう

今後の計画

- 今後、各社様にも訪問して賛同して頂ける方を募る予定
- ある時期までに集まった賛同者で極力平等な運営をしていく

協力者募集中

- 協力して頂ける方募集中
- まだ始まったばかりです

- 共同事業者
- プログラム提供者
- 出資者
- 事業参加者

おわり

Q&A